

#### \* 管理・運営の基本方針

令和2年度は、指定管理者としての2年目を迎え、常に消防防災行政の動向を注視し、消防局との緊密な連携のもと、来館者のニーズに即した管理運営に努めます。

多くの幅広い世代の皆様方に御来館していただき、防火防災についての知識と行動力を正しく身につけて自らの安全を守っていただくため、協会の基本方針であります次の3つの項目を主軸に、「災害に強い人づくり・組織づくり」を充実し推進します。

なお、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の拡大防止対策等のため、臨時休館等の対応を取らせていただく場合があります。

- ① 来館者のニーズに即したタイムリーな対応
- ② 各種イベント及び防災講演会の充実強化並びに広報広聴活動の強化
- ③ 効果的な施設運営

#### \* 防災教育指導の充実

本年、3階の地震を想定した「防災行動体験コーナー」を改修し、新規に「土砂災害体験コーナー」が完成しました。

近年多発する豪雨や相次ぐ台風の接近・上陸に伴い、市域の7割以上が山林である京都市においても土砂災害の発生が危惧されることから、このコーナーにバーチャルリアリティーの技術を導入、迫力あるリアルな映像を通して、体験者が、自宅周辺の危険個所の確認や前兆現象、雨量情報、そして、何よりも早期避難の重要性についての防災情報を理解していただけるように努めます。

また、日本全体が地震の活動期に入った今、京都市域の内陸型の直下型地震や海洋型の南海トラフを震源とする巨大地震への備えなど、京都市市民防災センターで行っております各体験を通じて、発生時には、最優先に自分の身を守ることを考えて行動するとともに、常日頃から災害への備えを万全にしておくことの重要性を指導します。

そして、若年層への指導として、小・中学生に対しては、防災意識と災害時の対応能力向上・充実に努めるため、各小・中学校に対して、より積極的な来館勧奨に努めます。

未就学児の子どもたちに対しては、従前から取り組んでおります幼・保育園を単位にした事業を企画し、楽しく親しみながら防災について学べる機会を設けます。

また、事業所研修については、2階総合訓練室での災害に即した実践型の訓練を行うとともに、とりわけ、昨年7月に発生した京都アニメーション火災を教訓に、2階避難体験室において、火災時の煙の中でも命を守る避難行動について、実体験を通じて学んでいただくプログラムを提供します。

#### \* 各種イベントや防災講演会の開催

各イベントについては、来館された方々に楽しく学びながら防火・防災知識の取得をしていただけるよう、充実した内容を企画し提供してまいります。

また、防災講演会の「災害に強いまちづくり講座」については、平成11年度から毎年実施しています。本年度もタイムリーなテーマを選定し、各分野を第一線で専門的に研究されている講師を招へいし、分かりやすくお話いただくとともに、その講演内容を講演録として取りまとめ、皆様に情報発信します。

#### \* 防火・防災講習の開催

消防法令等で定められている防火・防災講習では、特に、毎回の受講がほぼ満席の状況で推移しております「自衛消防業務再講習」について、受講者が、最近の法令改正の趣旨や自衛消防組織の活動に関わる知識・技能を身に付けていただくことを念頭に、実践型の図上訓練を行います。

また、平成30年度から実施しております「京の宿泊所防火研修」について、継続して開催します。受講者の方々には、法令はもとより防火・防災活動を通じた地域交流を学んでいただき、宿泊される方や周辺住民の方々の安心・安全を高めます。

#### \* 応急手当の普及

市民による救命に係る応急手当の実施率と技能向上を図るため、事業所や大学等に対して応急手当普及員講習と再講習の受講勧奨を行うとともに、防災イベント開催時には、AEDの取扱などの「応急手当ミニ体験会」を開催し、救命率の向上につながる事業を実施します。

#### \* 防災啓発事業等の充実

防災ビデオや災害写真パネルの貸出し等については、利用者の皆様からの要望に応えられるよう、新たな作品の購入や災害パネルの作成などに努め、更に防災意識の啓発を図ります。

また、来館された方へのアンケート等を通じて、来館者のニーズの把握に努めるとともに、防災体験や研修等の内容に反映し、充実します。

## 京都市市民防災センター の管理運営

## 防火防災に係る 各種イベントの開催

京都市市民防災センターの指定管理者として、地震体験、強風体験、避難体験、消火訓練、応急手当体験、都市型水害体験、土砂災害体験及び消防ヘリフライトシミュレーターなど、各種防災体験等を通じて、防災に関する知識の普及や技術の向上及び防災意識の高揚を図り、「災害に強い人づくり・組織づくり」に貢献する施設運営を行います。

学校が休み（夏休み、冬休み及び春休み）となる期間中並びに9月の防災週間、救急週間及び1月の防災とボランティア週間に関連した防災啓発の期間には、防火防災思想の普及を図るとともに、災害発生時の行動要領が身に付くよう工夫を凝らし、イベントを開催します。

イベント名	開催時期	内 容	
消防音楽隊コンサート & 防災歌劇	6月中旬	市内の幼・保育園児を対象に、音楽と防災劇を通じて、防災について楽しく学べる催しを実施します。	
BOSAIサマー フェスタ2020	8月下旬	夏休み期間中に、親子を対象とした火災予防（子どもの火遊び防止）のスクールやパークラフト教室などを実施します。	
防災 グランド フェスタ	防災展	8月下旬 ～9月上旬	防災週間中の土日に、家庭や地域における地震防災をテーマとした展示会などの内容を実施します。
	救急展	9月上旬	救急医療週間中の土日に、応急手当の重要性を訴える展示やAEDの取扱い体験などの内容を実施します。
	オータム フェスタ	9月中旬	連続した休日となる時期に、市内中学校吹奏楽部の演奏会などの内容を実施します。
園児の描く消防の 図画展示会	11月下旬 ～2月上旬 (土・日開催)	京都市消防局主催の消防図画募集に応募があった作品の展示を行うとともに、園児等の方に防災に親しんでいただける内容を実施します。	
冬休み子ども 防災アニメ大会	12月下旬 ～1月上旬	冬休み期間中に、幼児等を対象に防災ビデオを上映し、防災の意識付けを行います。	
防災フェア2021	1月中旬	防災とボランティア週間中に、非常持出品や震災パネルの展示を行うとともに、園児等を対象とした防災教室などの内容を実施します。	
BOSAIスプリング フェスタ2021	3月下旬	春休み期間中に、親子で参加できるファミリーサバイバルスクールなど、楽しみながら防災について学べる内容を実施します。	

## 防災講演会の開催

地震、風水害や火災をはじめとする各種災害に関する内容をテーマとした講演会を開催します。

事業名	開催時期	講演回数
災害に強いまちづくり講座 (I)	7月上旬	1回
災害に強いまちづくり講座 (II)	11月上旬	1回
災害に強いまちづくり講座 (III)	3月上旬	1回

## 防火・防災講習, 救命講習の開催

### ○ 防火・防災講習

事業所の防火防災体制の強化及び市民の応急手当の普及啓発を図るため、京都市（消防局）と連携を図り、実施します。

自衛消防業務新規講習	23回開催
自衛消防業務再講習	12回開催
防火対象物点検資格者本講習	1回開催
防火対象物点検資格者再講習 (石川県開催を含む。)	2回開催
防災管理点検資格者新規講習	1回開催
防災管理点検資格者再講習	1回開催
甲種防火管理新規講習	17回開催
甲種防火管理再講習	2回開催
乙種防火管理講習	2回開催
防災管理新規講習	2回開催
防火・防災管理新規講習	8回開催
京の宿泊所防火研修 (民泊等の小規模な宿泊施設の防火安全対策の推進を図る研修)	8回開催

### ○ 救命講習

応急手当普及員講習本講習	10回開催
応急手当普及員講習再講習	12回開催

## 広報広聴活動の実施

### ○ 京都市市民防災センターへの 来館勧奨

京都市市民防災センターの認知度の向上及び防災イベントの開催に係る周知について、更に工夫を重ねて充実を図ります。

- ・ 京都市市民防災センターの来館勧奨用として、年間の開館日カレンダー入りチラシを作成し、市内すべての自主防災会、幼稚園、保育園、小・中学校や過去に来館していただいた各種団体、事業所等に配布し、年間の事業計画に盛り込んでいただくように依頼します。
- ・ 市内各消防署、京都市内博物館施設、みやこ・めっせ、ひと・まち交流館京都、京都市国際交流会館等に対し、京都市市民防災センターの来館勧奨用チラシの配布を依頼します。
- ・ 各種イベントを開催する際には、ポスター、チラシなどの広報媒体を作成し、京都市市民防災センター内に掲示するほか、市内の幼稚園、保育園、児童館、学童保育所等へ郵送し、周知を図るとともに、市内の各自主防災会へは、引き続き、消防署及び消防団を通じて回覧、配布を行うなど、効果的にイベント情報を提供します。

また、各種情報誌、テレビ・ラジオ等の報道機関、各種新聞社へ様々な情報を提供し、PRの強化を図ります。

### ○ 広報媒体による情報提供

上記の情報提供以外に、災害に強いまちづくり講座の講演録を刊行し、市内の自主防災会、事業所等への配布を通じて、防災情報の提供と防災意識の高揚を図ります。

### ○ インターネットによる 情報提供

インターネットのホームページの内容を充実するよう更新し、防災知識の普及を図るとともに、各種講習会、イベント予定等の最新の情報をリアルタイムに提供して、京都市市民防災センターの利用を勧奨します。

### ○ 報道機関等への情報提供 及び取材対応

新聞、テレビ、ラジオなどの報道機関をはじめ、各種情報誌などに対し、積極的に防災情報、イベント情報等の提供を行い、取材していただけるよう案内を強化し、京都市市民防災センターの認知度の向上と来館機会の増加を図ります。

### ○ 広聴活動

来館者に、より一層の防災意識の向上を図っていただけるよう、アンケートやインターネットのEメール等による直接的な広聴活動を行うとともに、防災体験時にいただいた意見など、市民ニーズの把握に努め、防火・防災体験、研修等の内容の充実を図ります。

## 防災用品の普及啓発 及び販売

## 防災啓発ビデオ， 防火防災啓発器材等 の整備及び貸出し

- 防火防災器材等の貸出し等
- ビデオの貸出し等

## 他団体との連携

防災用品の備えの重要性について、普及啓発を図るとともに、来館者やインターネット、電話等による防災用品の問合せに対する対応及び防災用品等の販売の充実を図ります。

防災啓発ビデオ、防火防災啓発器材、災害写真パネル等の内容・種類を充実するとともに、市民、事業所、各種団体等に貸出しを行います。

非常持出品等の防火防災用品や地震、風水害に関する展示パネル等の充実を図り、消防署等に貸出しを行います。

新たに製作された防火防災及び応急手当に関するDVDビデオを中心としたビデオライブラリーを充実させるとともに、インターネットのホームページに最新情報を掲載し、利用者に分かりやすい情報提供を行い、貸出事業を通じて、市民の防火防災意識の啓発を図ります。

「園児の描く消防の図画展示会」、「救急フェア」の事業をはじめ、自衛消防隊連絡協議会総合研修会や文化財マイスター研修等を京都市（消防局）との共催事業として実施するほか、京都大学防災研究所、（公財）京都古文化保存協会、京安心すまいセンター、（一財）日本気象協会等の団体と連携を図るとともに、他団体が行うイベントにも当協会の事業目的に沿うものについては、積極的に参画し、防災意識の向上に取り組みます。